

# 花葉会総会

平成26年10月26日（日）午後2時より、平成25年度花葉会総会が、千葉大学園芸学部 100周年記念戸定ヶ丘ホールにて開催されました。出席者28名、久保田芳久幹事の総合司会で定刻どおり開始。

三吉一光会長より、開会の挨拶と大学の近況報告がありました。「大学全体では、静かですが力強く急激な変化が始まっています。文部科学省の強力なリーダーシップで、研究や競争力の強い大学を作るため大学の機能再編がなされています。千葉大学では、国際的な競争力を持ちグローバル化の牽引型となるため「千葉大学の新生」をテーマに採択。タイの大学と密接な関係を持ちます。新教養学部として「日本学」の学部を作ります。

園芸学部では、研究科長（学部長）が木庭卓人教授から沖津進教授に代った。別科が廃止され、技術・マーケティング力を併せ持つ

た人材を育てる新しい科が設立され、平成28年に募集し、平成29年4月入学となる。園芸学科の推薦枠がなくなる。このように急速な変化が起っています。」

午前中に開催された幹事会で推薦を受けた長岡求幹事長が議長に指名され、議事に入りました。

## 平成25年度事業報告

（平成25年9月1日～平成26年8月31日）

- ①平成25年10月6日 総会
- ②花葉会賞の贈呈  
25年度の受賞者は、宇田明氏（昭和45年園芸学科卒業）、草野修一氏（昭和53年生産管理学科卒業）の2名でした。
- ③平成25年12月10日「花葉」第32号発行
- ④平成26年7月9～16日スペインへの第25回海外園芸事情調査
- ⑤9月6～7日 第29回 2014年花葉会サマーセミナー

⑥花産業必修1000属検定（B級1名、C級5名合格）

⑦幹事会の開催は、平成25年10月6日、12月14日、平成26年1月18日、4月13日、6月1日、8月23日、9月7日の7回。

## 平成25年度会計報告

### ①一般会計報告

#### 収入の部

（平成26年8月31日現在）

前年度繰越金	1,998,368
会報広告料（32号）	949,790
協力金	171,730
総会余剰金	32,000
横井先生を偲ぶ会余剰金	3
基金より繰入	50,000
雑収入	554
預金利息	150
合計	3,202,595円

#### 支出の部

印刷費	33,000
会報関係	942,348
通信費	72,828
運送費	5,852
総会費（記念品代等）	187,755
会議費	225,007
事務費	137,266
賃金	914,160
慶弔費	57,182
税金	69,819
日本花普及センター賛助金	100,525

合計	2,745,742円
差引残高	456,853円



開会の挨拶をする三吉一光会長

②第29回2014花葉会サマーセミナー  
会計報告

収入	1,162,000円
(内訳)	
受講料	
18,000 × 63名	1,134,000
テキスト販売	28,000
合計	1,162,000円

支出	1,837,862円
(内訳)	
会場費	486,912
印刷費	454,270
講師謝礼	330,000
講師旅費	226,256
通信費	134,197
運送費	2,176
事務費	200,990
会議費	3,061
合計	1,837,862円
差引	-675,862円

\* 26年度基金より補填

③基金報告

基金（平成25年9月～平成26年8月）

合計金額 12,192,264円

（平成26年8月31日現在）

（内訳）

前年度残高	12,239,828
定期利息	2,412
普通利息	24
一般会計へ繰入れ	△50,000
合計	12,192,264円

会計監査報告

監事の河野幹司氏・篠田朗彦氏を代表して、河野幹事より、「平



総会会場風景

成25年度の会計収支の監査の結果、事務処理および諸帳簿の記載は正確かつ適正に行なわれていたことを報告します」との報告がありました。付帯意見として、「①会議費として会議室の使用費について②会報の収支は、広告費でまかなっているのは敬服する③サマーセミナーの参加が少ないので、今後の問題として考えて欲しい④基金からの補填が増えているので、今後の活動を考える必要がある」と出されました。

平成26年度事業計画

（平成26年9月1日～平成27年8月31日）

①「花葉」33号発行

②花産業必修1000属検定

③第30回 2015年花葉会セミナー  
開催

平成27年7月18・19日（土・日）

会場：千葉大学園芸学部合同講義室

④海外園芸事情調査

⑤総会、花葉会賞の贈呈

⑥交流会の開催

平成26年度予算

収入の部

前年度繰越金 456,853

会報広告料（33号分） 950,000

協力金収入	700,000
基金より繰入	1,675,732
預金利息	150
合計	3,782,735円

支出の部

印刷費	60,000
会報関係	950,000
通信費	150,000
運送費	10,000
総会費	200,000
会議費	300,000
事務費	150,000
賃金	900,000
慶弔費	50,000
税金	70,000
雑費	100,000
25年度サマーセミナー補填	675,732
予備費	117,003
合計	3,782,735円

花葉会の一般社団法人化

田中桃三幹事より一般社団法人化する理由について説明がありました。

役員一部改選

相談役退任 岩井英明氏（平成26年1月ご逝去）



花葉会賞を受ける清住昇氏

幹事退任 小泉力氏、荘智裕氏

以上の議題は、拍手をもって承認されました。

### 横井政人先生を偲ぶ会報告

國分尚副会長より、平成26年2月1日(土)に芝パークホテルにて開催された「横井政人先生を偲ぶ会」(平成25年9月21日ご逝去)の報告がされました。

花葉会と日本植木協会新樹種部会が共催し、代表は安藤敏夫花葉会名誉会長。参加者は、122名。

偲ぶ会で映写された横井先生が世界に贈った植物のスライドを、横井先生の業績と略歴の紹介とともに映写しました。

### 花葉会賞贈呈

総会に引き続いて、花葉会賞の贈呈がありました。長岡求幹事長より清住昇氏(昭和40年農業別科修了)、山田幸子氏(昭和44年園芸学科卒業)の2名を紹介。

三吉会長より賞状と記念品が授与されました。

受賞者を代表して、清住氏が「花葉会賞を受け、無常の喜びで、心からお礼申し上げます。微力ながら常に研鑽と努力をしてきました。今後も、花卉園芸の経営拡充、地域の振興に務め、技術の革新に努力してまいります」と、挨拶されました。

### 花卉産業必修1000属検定試験

#### B級合格認定証授与

安藤匡哉氏にB級の認定証が授与されました。

### 受賞記念講演

山田幸子氏より「出版業界のガーデニングブーム物語～花の本づくりから探る～」と題する講演が行なわれました。

### 懇親会

午後4時30分から緑風会館2階にて、國分副会長の司会進行で懇親会が始まりました。

千葉大学園芸学部で昭和24年から45年間勤められ、現在88歳になられる渡辺重吉郎先生が開会の挨拶をされ、清住氏が乾杯の発声を行いました。終始和やかに進行し、閉会の挨拶を吉池貞藏氏が行い、盛会のうちに会は終了しました。

(文責：編集部)



花葉会賞を受ける山田幸子氏



乾杯の発声をする清住昇氏



B級合格者安藤匡哉氏挨拶



懇親会開会の挨拶をする渡辺重吉郎先生



懇親会閉会の挨拶をする吉池貞藏氏